

授業科目名	経済学	担当教員名	池上 好美
科目区分	社会福祉主事任用資格に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	
必修・選択/単位数	選択 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	1/2年 前期 (1-2期) / ※令和6年度は開講しません	特記事項	
授業の概要 及び 全体目標	ミクロ経済学を学び理解し、そのうえでミクロ経済の集合体であるマクロ経済を理解する。		
到達目標	①家計を単位とする身近な経済学を学び理解する。 ②生産者と消費者の市場負担決定の仕組みを理解する。 ③ミクロ経済学とマクロ経済学の関連性を理解する。 ④社会福祉及び社会保障の財政的基盤について国家財政・地方財政の仕組みを学ぶ。		
テキスト	「大学4年間の経済学が10時間で学べる」 井堀利宏著(株式会社KADOKAWA出版)		
参考書・ 参考資料等	「経済原論 I・II」、「ミクロ経済学戦略的アプローチ」		
成績評価の方法	・学習内容の理解(理解度到達度チェック 筆記形式 60%) ・授業に取り組む意欲(意見及び考察の発表 30%) ・授業参加への積極性 (10%)		
授業外(事前・事後)学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業時に指示する。事後学習については記載ノートの確認及び質問シートにて対応する。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	ミクロ経済とマクロ経済で学ぶこと	①	
第2回	ミクロ経済の基本	①	
第3回	消費者行動の理論「効用について」	①	
第4回	消費者行動の理論「消費者余剰について」	①,②	
第5回	消費者行動の理論「社会的余剰の最適分配について」	①,②	
第6回	供給の理論「企業はどうかどうするのか」	②	
第7回	市場の理論「需要と供給による市場価格決定について」	②	
第8回	市場の理論「市場の最適供給と最適需要の決定」	②	
第9回	所得分配の決まり方	②,③	
第10回	独占と規制・寡占市場	②,③	
第11回	外部効果と公共財	②,③	
第12回	情報の非対称性	③	
第13回	不完全情報の世界	③	
第14回	マクロ経済学の基本	④	
第15回	財政政策・金融政策・国際経済	④	